

VTホールディングス株式会社

(名証2部、大証JQ:7593)

ディーラーを超えるディーラーへ

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

2012年11月



VT HOLDINGS

この資料に記載されている業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれているため、実際の業績が予想数値と異なる場合があることをご了承ください。

ディーラーを超えるディーラーへ

私たちは、常にお客様目線で質の高いディーラーサービスを提供します！



お客様満足度を高め質の高いディーラーサービスを提供する
高い専門知識を培いどこでも均一のサービス提供する
質の高いディーラーサービスの世界的展開を実施する
高効率・高収益・高スピード主義を心がける

私たちの果たすべき役割

高い顧客満足度

高品質のサービス



ディーラーを超えるディーラーへ



M&A戦略による拡大

メーカーへの貢献

決算ハイライト

決算ハイライト

2013年3月期 2Q 決算サマリー

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

6

●過去最高売上高、営業利益、経常利益を達成

- ✓ 第2四半期としては、売上高、営業利益、経常利益で**過去最高を更新**
- ✓ 四半期純利益については、前第2四半期に事業譲渡益として13億7百万円の特別利益があったため減益となっているが、前期の事業譲渡益を控除した場合(控除後、前第2四半期純利益1,177百万円)には、四半期純利益も過去最高益

●財務体質の改善

- ✓ 自己資本は、前期末比1,475百万円増加
- ✓ 自己資本比率は、前期末比0.3%改善し22.6%

●中間配当13円、期末予想配当13円、 年間配当26円の見込み(前年比+6円)



M&Aが寄与し、5期ぶりに過去最高売上高を更新

- ✓ 4月に自動車ディーラー2社を企業買収したことにより、前期比大幅増収
- ✓ 営業利益、経常利益も昨年の過去最高益を更新
- ✓ 当期利益は、過去最高益ではないものの、前年同期の特別利益1,300百万円を除いた1,177百万円と比較すれば、実質的に最高益となる

(単位:百万円)	09/3 1-2Q	10/3 1-2Q	11/3 1-2Q	12/3 1-2Q	13/3 1-2Q	前期比
売上高	47,657	41,602	47,231	43,394	55,589	128.1%
営業利益	1,162	1,436	2,827	2,900	3,163	109.0%
経常利益	978	1,253	2,686	2,829	3,025	106.9%
当期純利益	△70	564	1,322	2,484	1,808	72.7%
1株当たり当期純利益 (EPS)	△2.08円	17.05円	38.67円	72.10円	51.51円	71.4%
自己資本当期純利益率 (ROE)	△0.8%	6.7%	12.1%	17.5%	10.3%	△7.2%

自動車セグメント 部門別損益

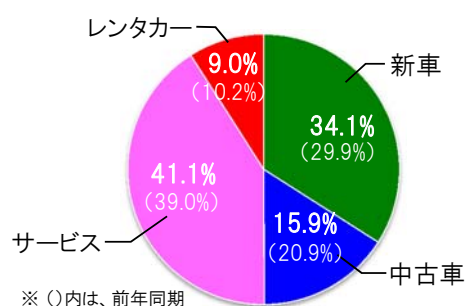
新車粗利・サービス粗利が改善

- ✓ M&Aが寄与し、レンタカーも好調に推移したことにより全部門で増収
- ✓ エコカー補助金は、新車粗利にはプラスに、中古車粗利にはマイナスに作用

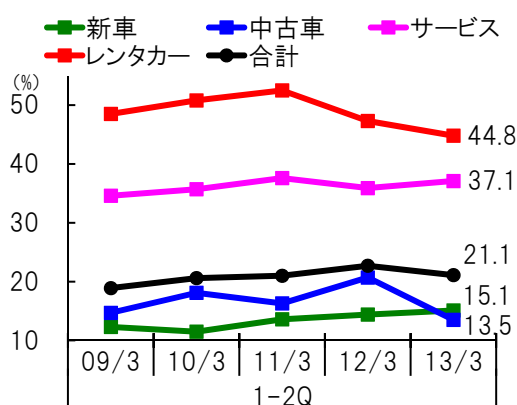
(単位:百万円)	09/3 1-2Q	10/3 1-2Q	11/3 1-2Q	12/3 1-2Q	13/3 1-2Q	前期比
売上高						
新車	22,899	19,269	23,390	19,929	26,043	130.6%
中古車	11,752	8,584	10,340	9,697	13,515	139.3%
サービス	10,622	10,448	10,386	10,379	12,782	123.1%
レンタカー	1,091	1,308	1,618	2,060	2,319	112.6%
合計	46,366	39,610	45,735	42,066	54,662	129.9%
粗利益						
新車	2,827	2,223	3,181	2,860	3,928	137.3%
中古車	1,725	1,556	1,686	2,002	1,828	91.3%
サービス	3,670	3,726	3,907	3,725	4,737	127.1%
レンタカー	529	664	849	974	1,039	106.7%
合計	8,752	8,170	9,624	9,562	11,534	120.6%
粗利率						
新車	12.3%	11.5%	13.6%	14.4%	15.1%	+0.7%
中古車	14.7%	18.1%	16.3%	20.7%	13.5%	-7.2%
サービス	34.6%	35.7%	37.6%	35.9%	37.1%	+1.2%
レンタカー	48.5%	50.8%	52.5%	47.3%	44.8%	-2.5%
合計	18.9%	20.6%	21.0%	22.7%	21.1%	-1.6%

【部門別 粗利益構成】

13/3期 1-2Q



【部門別 粗利率】



固定資産の増加

(前期末比+58億円)

4月のM&Aに伴う
土地・建物などの有形固定資産
(影響額+26億円)とのれんを含
む無形固定資産(影響額+32億
円)の増加によるもの

純資産の増加

(前期末比+14億円)

第2四半期純利益 +18億円 等

負債の増加

流動負債+32億円

固定負債+10億円

4月のM&Aに伴い、子会社が増え、
相応の負債も増加

	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3 2Q末
(単位:百万円)					
現金及び預金	1,908	7,042	6,412	6,639	4,897
その他	14,000	16,110	14,221	19,992	21,620
流動資産合計	15,908	23,152	20,634	26,631	26,518
有形固定資産合計	29,068	25,311	26,667	27,096	29,521
無形固定資産合計	13,315	12,502	11,688	10,926	13,747
投資その他の資産合計	7,712	6,862	6,739	6,947	7,550
固定資産合計	50,096	44,676	45,095	44,970	50,820
資産合計	66,005	67,829	65,730	71,601	77,338
流動負債合計	44,364	42,893	37,813	41,872	45,082
固定負債合計	13,376	14,446	14,815	12,807	13,864
負債合計	57,741	57,339	52,628	54,680	58,947
資本金・剰余金	7,793	9,760	12,372	16,117	17,507
自己株式	△218	△193	△286	△380	△232
株主資本合計	7,574	9,567	12,086	15,737	17,275
その他	689	922	1,015	1,184	1,116
純資産合計	8,263	10,489	13,101	16,921	18,391
負債純資産合計	66,005	67,829	65,730	71,601	77,338
<実質有利子負債>	34,677	25,876	22,757	19,876	27,011

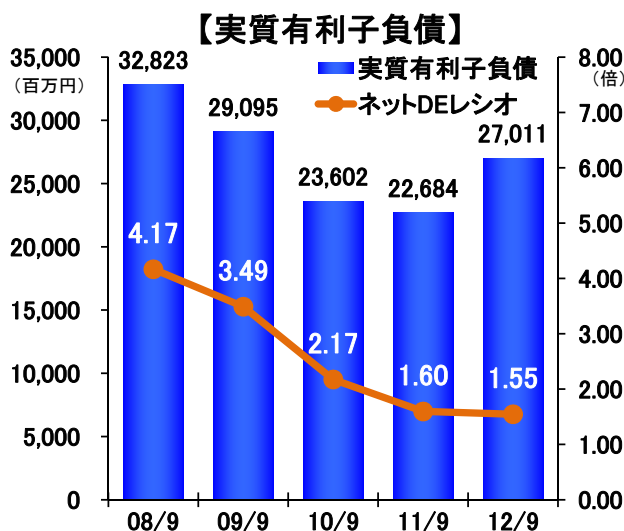
財務体質の強化

1.実質有利子負債の削減

4月に子会社化した2社分の負債増は
あったものの、収益積み上げにより、
ネットDEレシオを改善

※実質有利子負債＝有利子負債－現預金

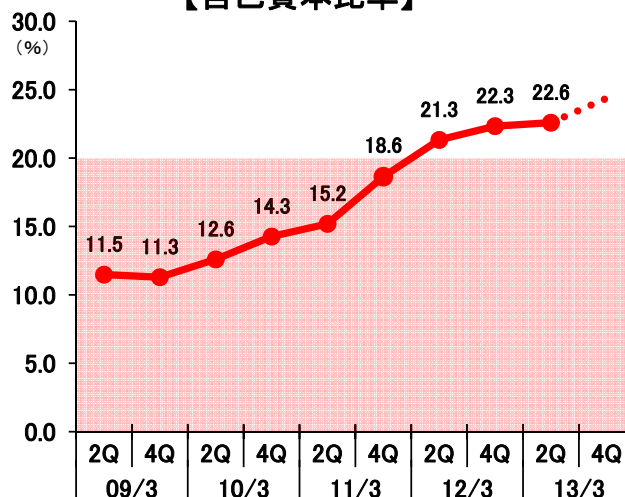
※ネットDEレシオ＝実質有利子負債÷自己資本
(実質負債資本比率)



2.自己資本の充実

左記の負債増などがあったが、業績が
堅調に推移したことにより、前期末比
プラスの22.6%を確保
引き続き中期目標の30%を目指す

【自己資本比率】



事業の全体像と 連結子会社の概要

連結子会社の概要
事業の全体像と

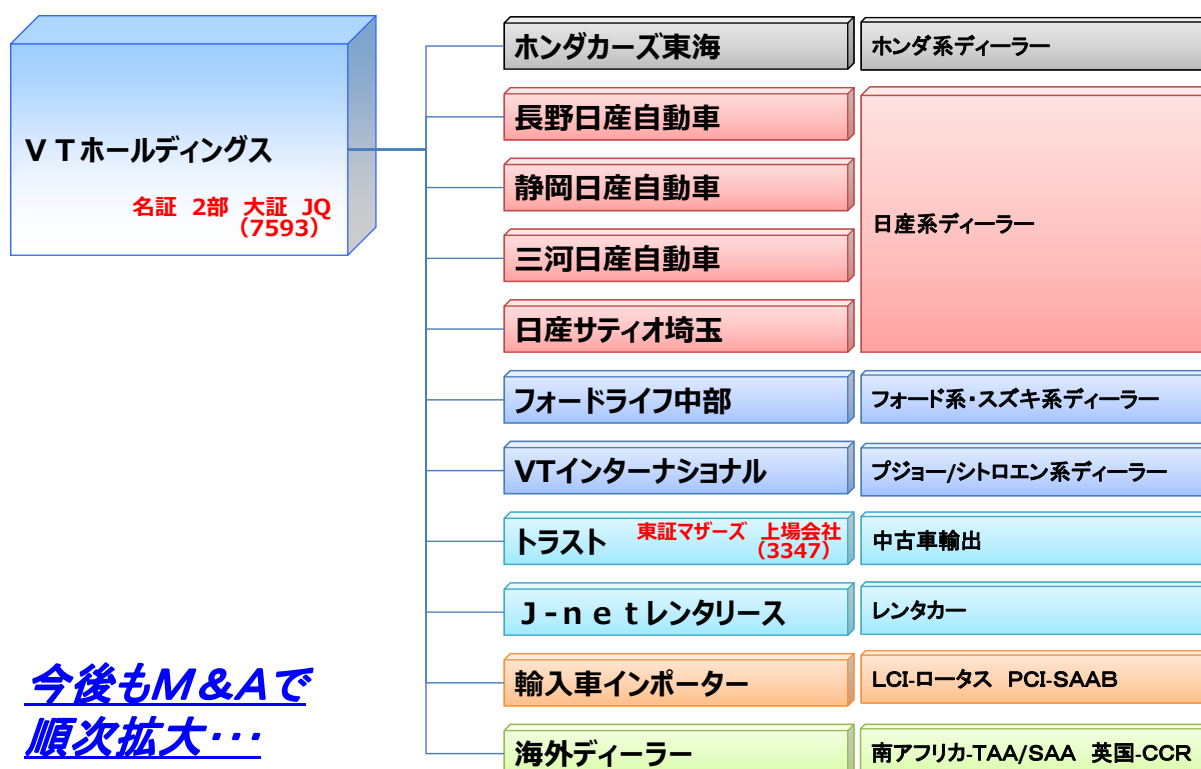
VTホールディングスの全体像

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

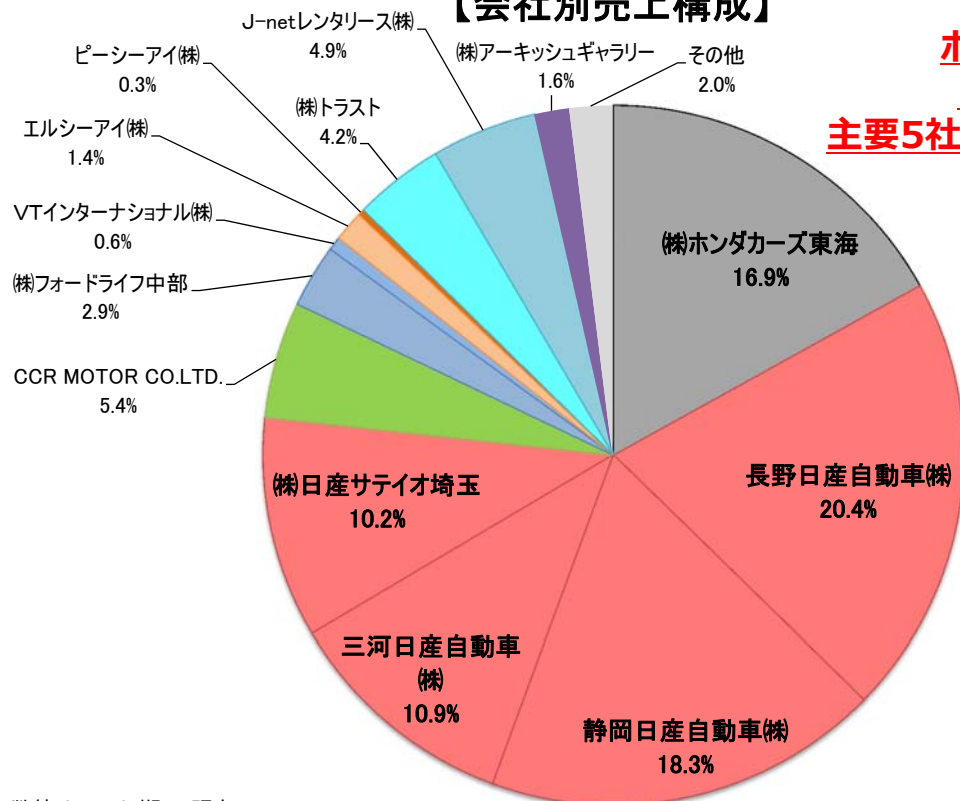
12

当社グループは、当社(持株会社)、連結子会社25社及び持分法適用関連会社3社で構成され、ディーラー事業、レンタカー事業及び中古車の輸出事業からなる自動車販売関連事業が中核事業となっております。



今後もM&Aで
順次拡大...

【会社別売上構成】



**ホンダカーズ東海と
日産系4社までの
主要5社で全体の約77%**

426億円
555億円

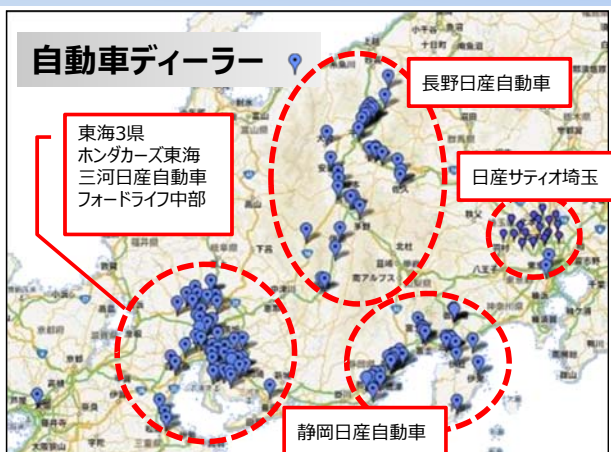
**日産系4社で
約60%**

332億円
555億円

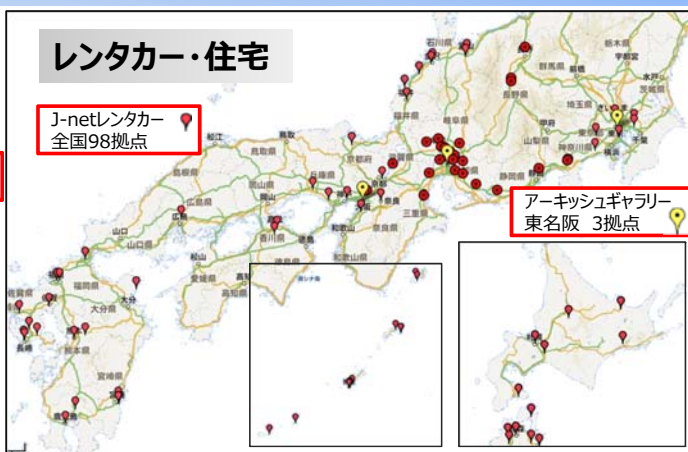
※数値は、13/3期2Q現在

事業エリア

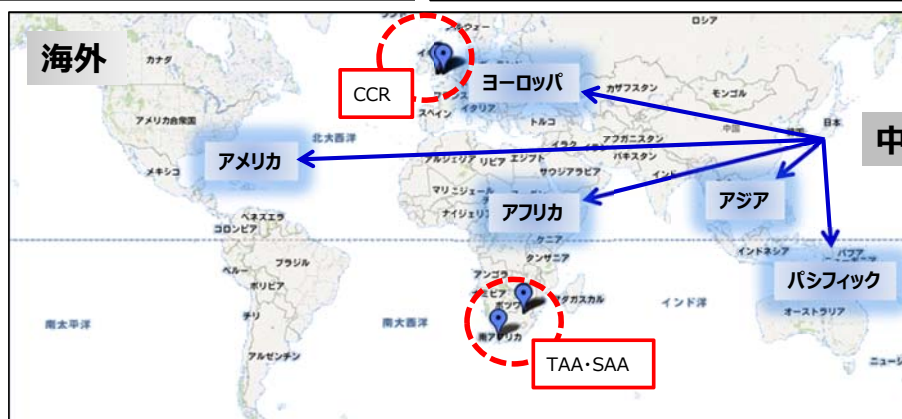
自動車ディーラー



レンタカー・住宅



海外



中古車輸出先

グループの自動車販売拠点数

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

15

(2012年9月30日現在)

(2012年9月30日現在)				店舗数			
	集計区分	会社名	ブランド別	新車	中古車	合計	代理店数
国内	ホンダ	(株)ホンダカーズ東海	ホンダ	24	1	25	－
	日産	長野日産自動車(株)	日産	31	5	36	－
		静岡日産自動車(株)	日産	25	4	29	－
		三河日産自動車(株)	日産	11	2	13	－
		(株)日産サティオ埼玉	日産	17	2	19	－
	その他のディーラー	(株)フォードライフ中部	スズキ	4	8	15	－
			フォード	3			
		VTインターナショナル(株)	ジャガー/ランドローバー	1	1	－	
	輸入車 インポーター	ピーシーアイ(株)	SAAB				13
			ケートハム				20
		エルシーアイ(株)	ロータス	2		2	17
	レンタカー	J-netレンタリース(株)	－		1	1	－
海外	その他のディーラー	TAA	フィアット/アルファロメオ	1		2	－
			プジョー	1			
		SAA	スズキ	3		3	－
		CCR	三菱	11		11	－
				134	23	157	

※青字は、12/3期にM&Aした子会社 赤字は、13/3期にM&Aした子会社

主な子会社 ホンダカーズ東海

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

16



HONDA

＜愛知県尾張、岐阜県西濃＞

- ・新車 24拠点
- ・中古車 1拠点

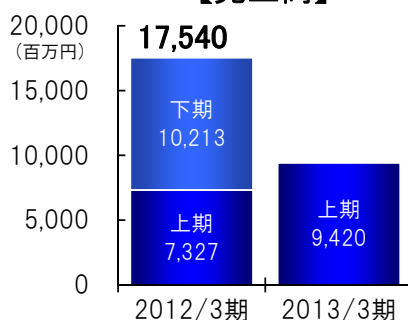
前年発売のNBOXのヒット等が寄与し、売上高、経常利益ともに過去最高を更新

売上高経常利益率
8.2% (前年同期 7.3%)

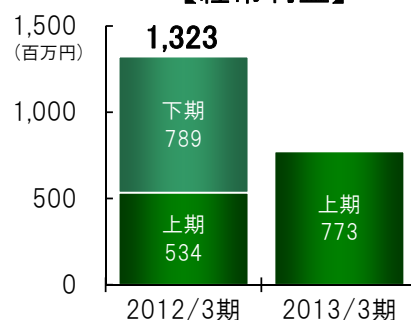
連結売上高に対する構成比
16.9%

上場時の母体企業であり、ここで培われた運営ノウハウがグループ傘下の他のディーラーに注入され、収益性強化に寄与

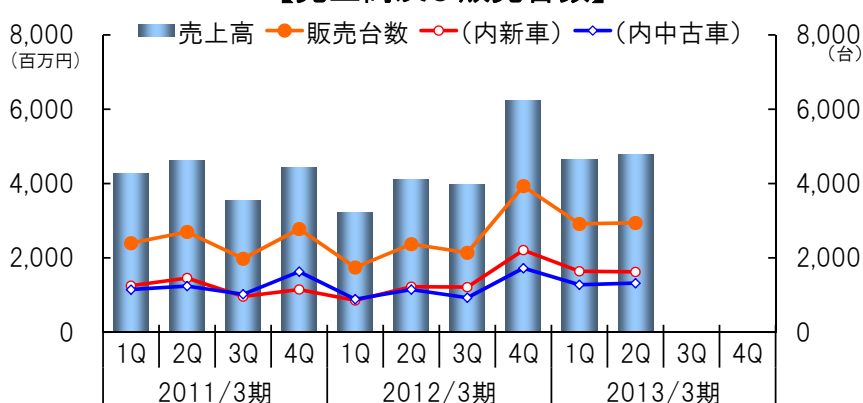
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



2012年3月期

12月 N BOX 新発売

軽乗用車「N BOX」(エヌ ボックス)
を新発売(12/16)



2013年3月期

4月 ストリーム マイナーチェンジ

コンパクトミニバンストリームを
マイナーチェンジして発売(4/5)



4月 ステップワゴン/ステップワゴンスパーク マイナーチェンジ

クラストップの低燃費でマイナー
チェンジして発売(4/12)



7月 NBOX+ 新発売

Nシリーズ第2弾として、軽乗用車
最大級の広さを実現した新型軽
乗用車「NBOX+」を発売(7/6)



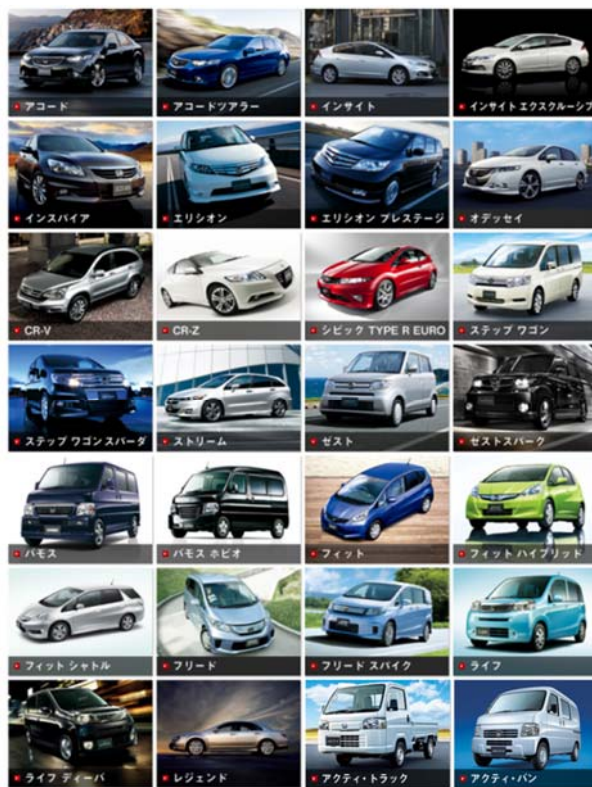
9月 CR-Z マイナーチェンジ

走行性能と燃費性能をさらに進化させ
マイナーチェンジして発売(9/28)



11月 N one 新発売

Nシリーズ第3弾として、プレミアムな
軽自動車「N one」を発売予定(11/1)



主な子会社 長野日産自動車



＜長野県全域＞

- ・新車 31拠点
- ・中古車 5拠点

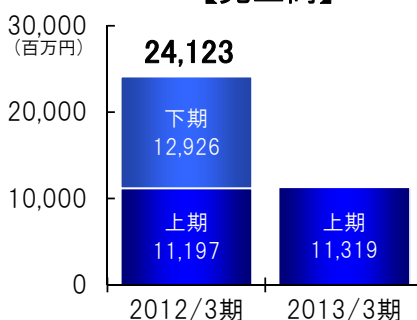
エコカー補助金の効果などにより、
若干の増収

経常利益は、前年上期が震災後、
他のメーカーに比べ商品供給が早く
回復したことなどの特殊要因を含む
為、微減

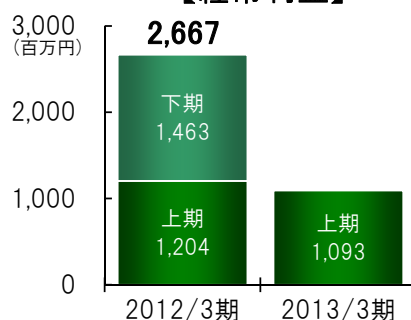
売上高経常利益率
9.6% (前年同期 10.8%)

連結売上高に対する構成比
20.3%

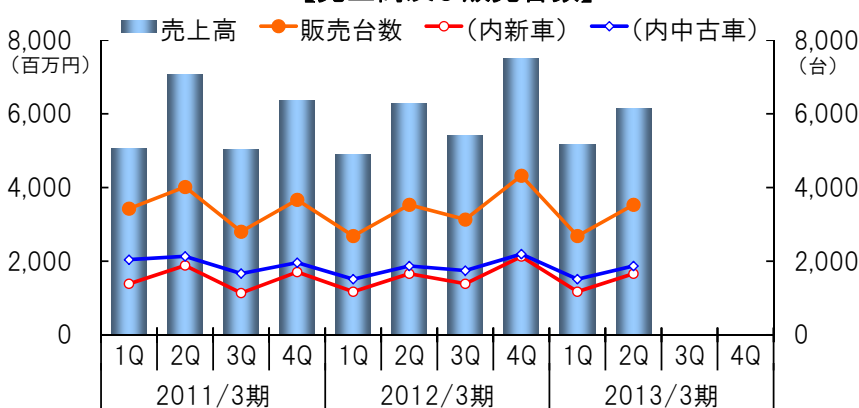
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



主な子会社 静岡日産自動車

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

19



＜静岡県中東部＞

- ・新車 25拠点
- ・中古車 4拠点

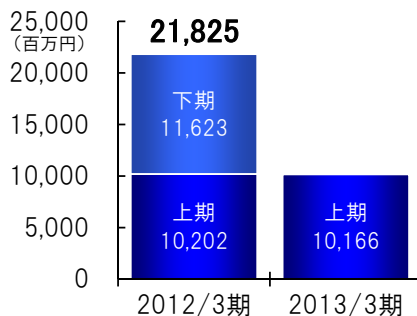
売上高利益ともに若干の減少

前年上期は震災後、他のメーカーに比べ商品供給が早く回復したことなどの特殊要因を含むため、実質前期並み

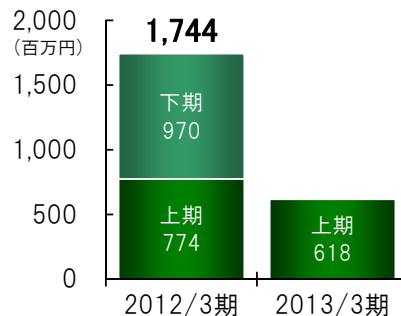
売上高経常利益率
6.0%（前年同期 7.6%）

連結売上高に対する構成比
18.2%

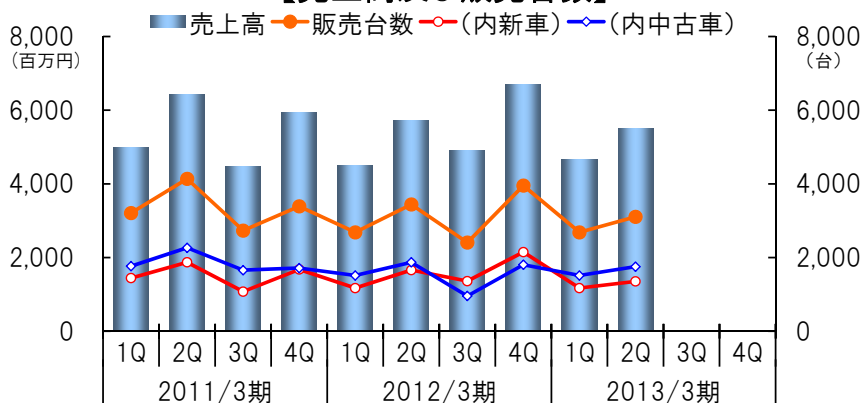
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



主な子会社 三河日産自動車

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

20



＜愛知県西三河＞

- ・新車 11拠点
- ・中古車 2拠点

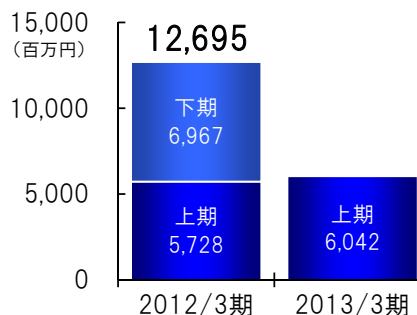
増収ながら若干の減益

前年上期は震災後、他のメーカーに比べ商品供給が早く回復したことなどの特殊要因を含むため、実質前期並み

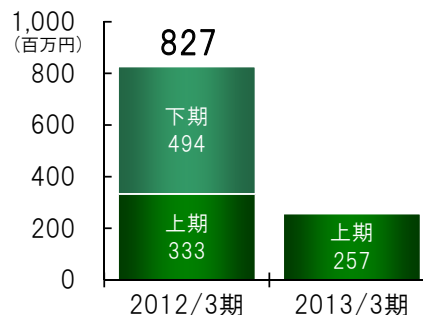
売上高経常利益率
4.2%（前年同期 5.8%）

連結売上高に対する構成比
10.8%

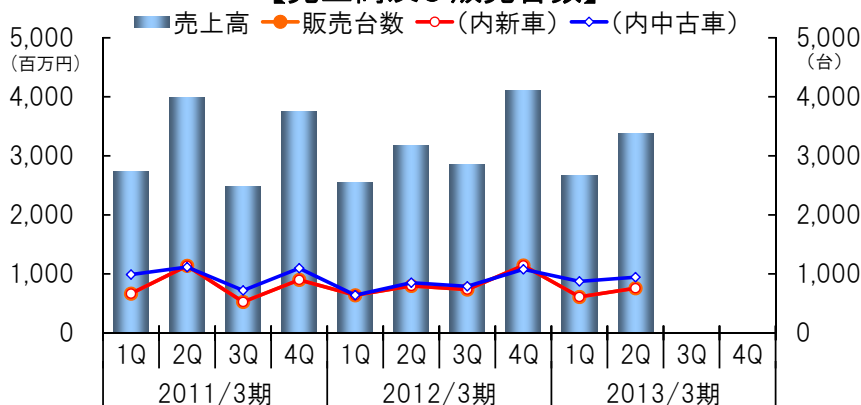
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



主な子会社 日産サティオ埼玉

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

21



〈埼玉県東南部〉

- ・新車 17拠点
- ・中古車 2拠点

2012年4月2日に子会社化

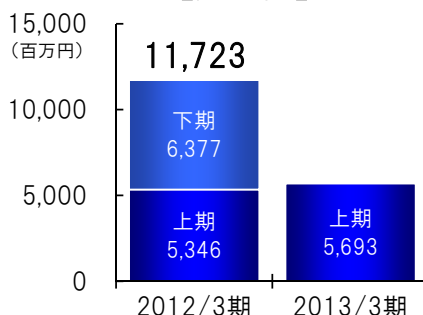
当社グループのノウハウで収益改善し、半年足らずで日産系トップディーラーに仲間入り

売上高経常利益率 6.8%
(子会社化前の参考値-1.6%)

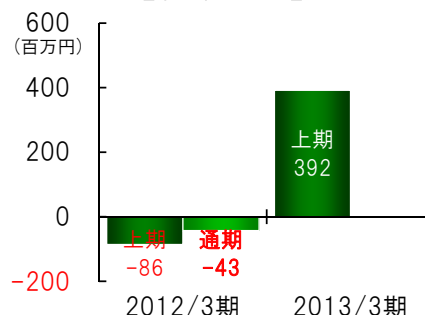
4月2日に1,500円で株式取得後、財務基盤の安定化を図るため、15億円の増資を実施済

※2012年3月期の売上高・経常利益は、子会社化前であり、当社連結業績とは関係なく、また新設分割前の旧日産サティオ埼玉の数値であり、当社基準の監査等がなされていない参考数値となります。

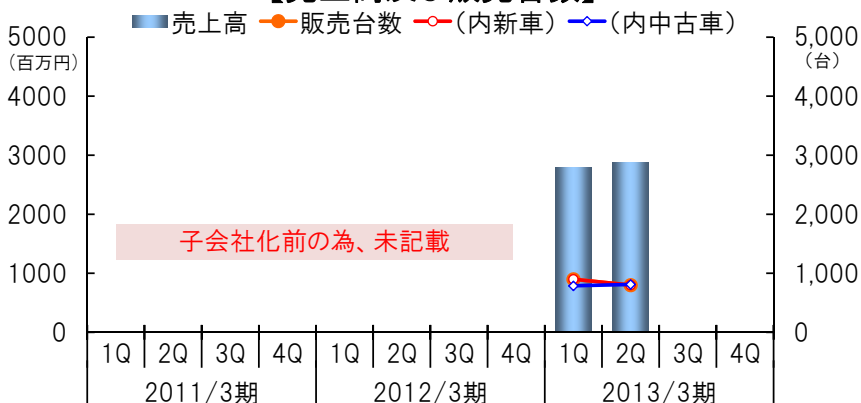
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



日産系販社 日産車のトピックス

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

22

2012年3月期

6月 ラフェスタ ハイウェイスター 新登場
マツダプレマシーのOEM
モデルが新登場(6/15)



2013年3月期

6月 NV350キャラバン 新登場
「キャラバン」をフルモデルチェンジし、「NV350キャラバン」と改め新発売(6/15)



8月 セレナ S-HYBRID 新発売
人気のセレナに待望のハイブリッドモデルが登場(8/1)



9月 ノート フルモデルチェンジ
ガソリン登録車クラスナンバー1の低燃費でフルモデルチェンジ(9/3)



10月 ラティオ フルモデルチェンジ
セダンタイプ乗用車ラティオがフルモデルチェンジ(10/5)



10月 キューブ マイナーチェンジ
アイドリングストップを採用し、燃費性能を向上し、マイナーチェンジ(10/30)



日産リーフ



ジューク



ティダ



ノート



キューブ



マーチ



ルックス



モコ



オッティ



キックス



クリッパーリオ



エルグランド



セレナ



ラフェスタ
ハイウェイスター



ラフェスタ JOY



NV200 バネット



GT-R



スカイライン
クーペ



フェアレディZ



スカイライン
クロスオーバー



ムラーノ



エクストレイル



デュアリス



ジューク



ウイングロード



ラティオ



フーガ ハイブリッド



フーガ



スカイライン



ティアナ



シルフィ



車種別 [新車販売台数]

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

23

2013年3月期 1-2Q 実績 (単位:台)

ホンダ車		
		
1	NBOX	1,276
2	ステップワゴン	364
3	フィットハイブリッド	315
4	フィット	245
5	フィットシャトルハイブリッド	176
6	フリードハイブリッド	175
7	NBOX+	122
8	フリード	115
9	フリードスパイクハイブリッド	95
10	ライフ	80
11	その他	299
合計		3,262

■は軽自動車

日産車		
		
1	セレナ	1,536
2	モコ	1,125
3	ノート	941
4	ルークス	758
5	マーチ	610
6	キューブ	502
7	ジューク	474
8	エクストレイル	401
9	クリッパー	264
10	キャラバン	238
11	その他	1,720
合計		8,569

■は軽自動車

主な子会社 トラスト

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

24

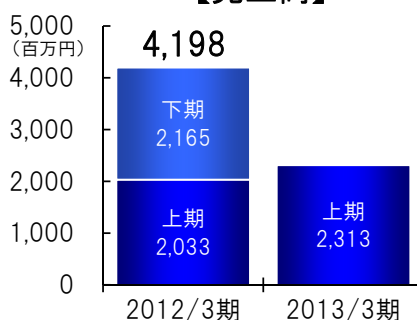


売上高経常利益率
4.7% (前年同期 4.0%)

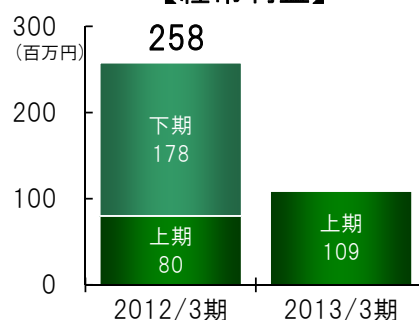
連結売上高に対する構成比
4.1%

アフリカ地域での陸送サービス、アフターサービスの強化に加え、オセアニア地域や規制が緩和された一部アジア地域が伸長し、増収増益。

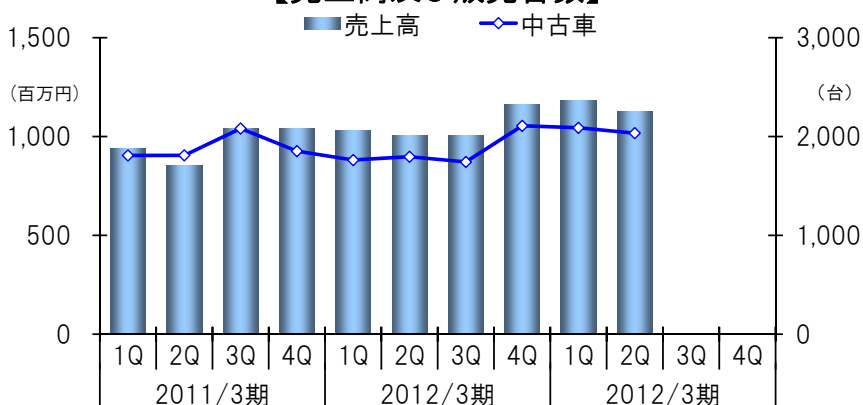
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



主な子会社 J-netレンタリース

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

25



直営店 29店舗
FC店 69店舗
計 98店舗

(2012年9月末時点、店舗数には、案内所を含む。)

予約サイトの強化、TVCMの継続実施等、個人顧客の獲得に注力

新規出店の効果もあり、増収増益

売上高、経常利益ともに過去最高を更新

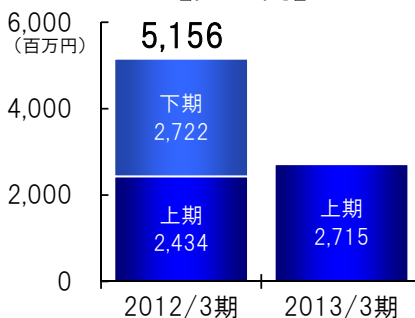
売上高経常利益率

13.7% (前年同期 13.2%)

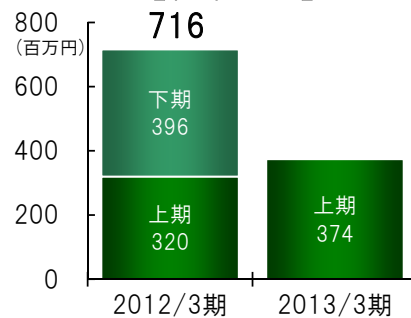
連結売上高に対する構成比

4.8%

【売上高】



【経常利益】



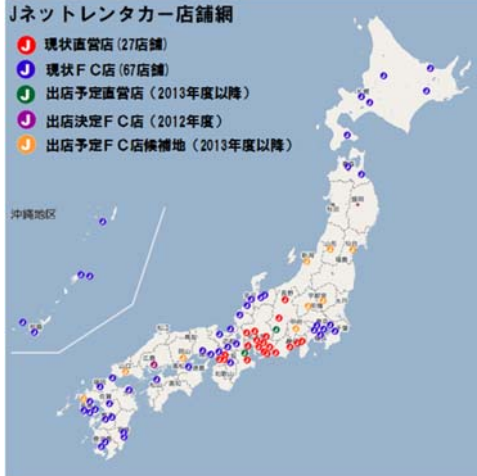
<新規出店>

直営 蕨店、関店

FC店 甲斐店、小山喜沢店

Jネットレンタカー店舗網

- 現状直営店 (27店舗)
- 現状FC店 (67店舗)
- 出店予定直営店 (2013年度以降)
- 出店決定FC店 (2012年度)
- 出店予定FC店候補地 (2013年度以降)



主な子会社 英国CCR

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

26



<英国ロンドン及びイングランド南西>
・新車 11拠点

2012年4月2日に子会社化

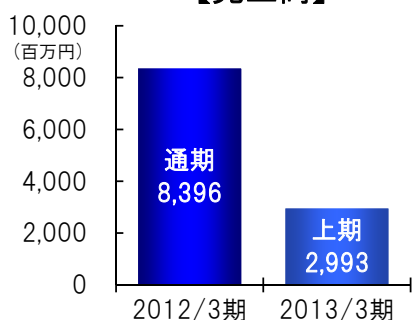
右グラフの2012年3月期は、買収前であり、当社業績とは関係ありません。

三菱自動車ディーラーとしては、イギリス国内で最大規模のディーラー

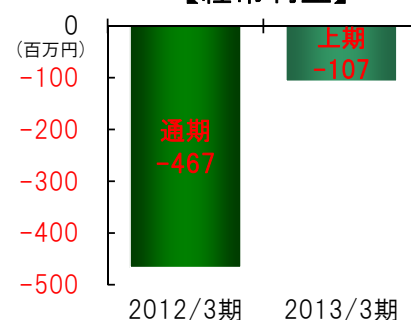
売上高経常利益率 $\Delta 3.5\%$

(子会社化前の参考値 $\Delta 5.5\%$)

【売上高】



【経常利益】



※2012年3月期の売上高・経常利益は、子会社化前の数値であり、当社基準の監査等がなされていない参考数値となります。



当社の強みと 成長戦略

成長戦略
当社の強みと

当社の強みと特長

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

28

- ① M&Aによる成長戦略
- ② スtock型ビジネスモデル
- ③ 基盤収益カバ―率の向上

高い成長と安定収益の実現をスピード感を持って達成する

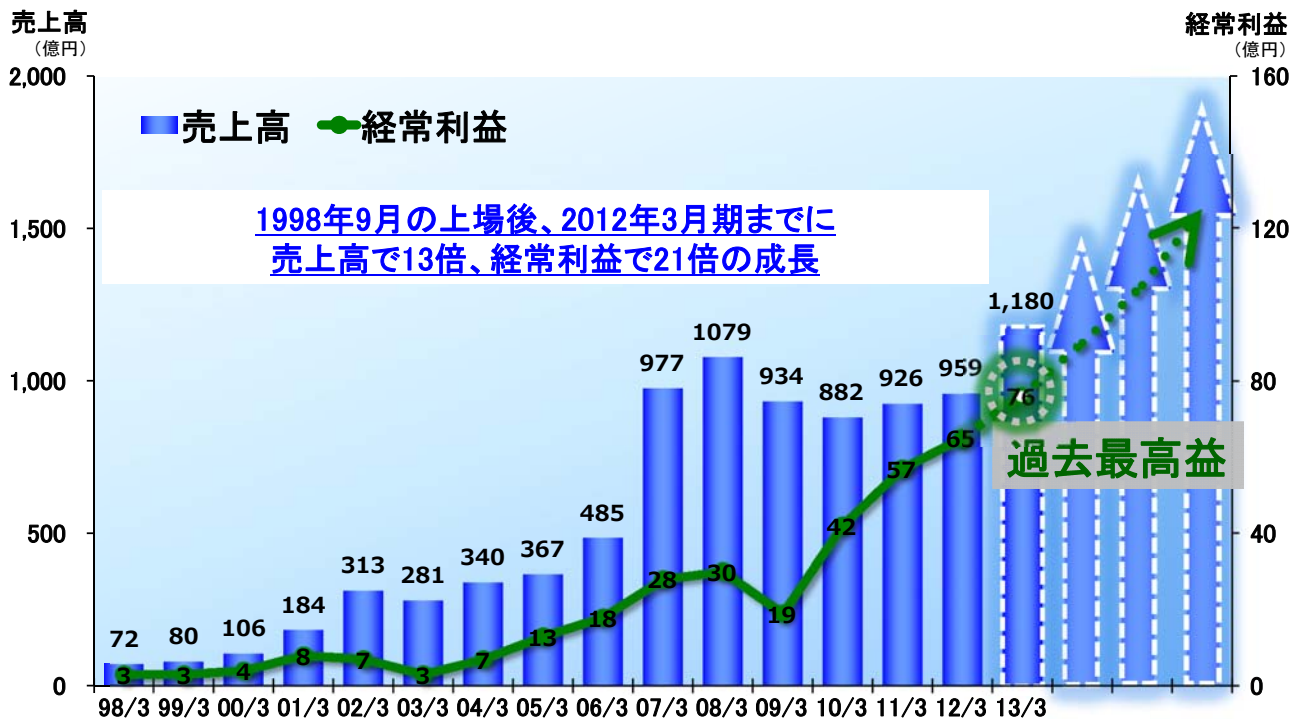
安定成長の実現に向けて

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

29

キャッシュフローの範囲内で継続的にM&Aに取組み、『事業規模の拡大』、『収益性の向上』、『財務体質の強化』のすべてのテーマをバランスさせた成長シナリオを目指す



外部環境とVTホールディングス

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

30

登録台数減少するも、保有台数は増加

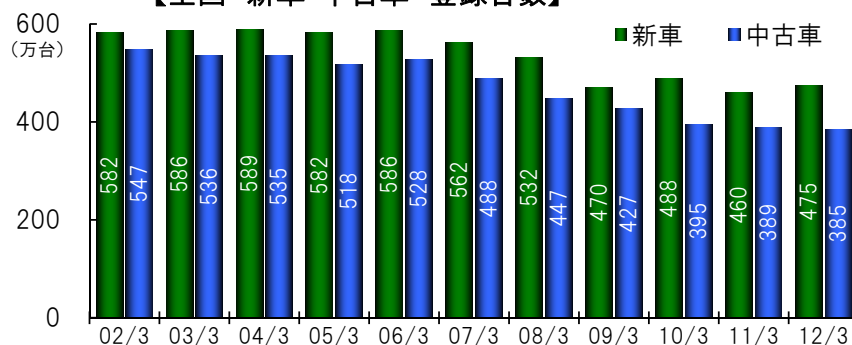
自動車の登録台数は、新車・中古車ともに減少傾向
(過去10年で新車18%中古車30%減)

10/3期、12/3期は、政府の支援策などにより、新車販売の持ち直しが見られるが、長期的には緩やかな減少を想定

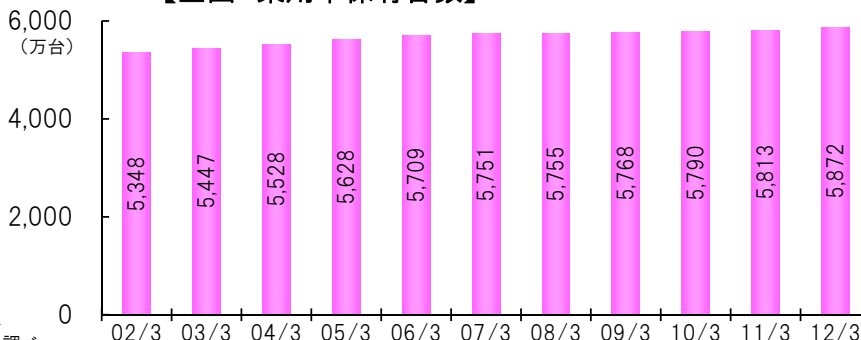
保有台数は、車輛の保有年数が長くなったことなどもあり、02/3期比10%増加

⇒当社収益の約40%を占めるサービス部門は、保有台数を収益源とするストックビジネスであるため、**引続き安定的に収益確保の見込**

【全国 新車・中古車 登録台数】



【全国 乗用車保有台数】



※ 登録台数は、(社)日本自動車販売協会連合会調べ
※ 乗用車保有台数は、(財)自動車検査登録情報協会調べ

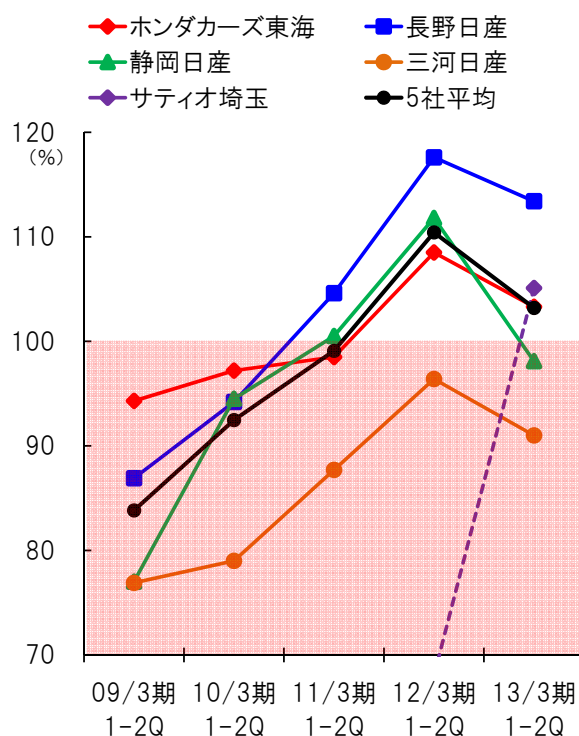
4月にM&Aした日産サティオ埼玉は、上半期で100%越え

基盤収益カバー率

＝ 新車以外の粗利益 ÷ 販管費
(新車以外の部門の利益で、販管費をどの程度カバーできるかを表す指標)

- ✓100%を超えれば、新車が売れなくても赤字にならない
- ✓メーカー次第となる新型車の発売サイクル等、外部要因に左右されやすい新車部門以外で、コストを賄う「**新車が売れなくても赤字にならない企業体質**」が更に定着
- ✓VTグループ主要5社の平均は、**103.2%**
- ✓主要5社は、ホンダカーズ東海、長野日産自動車、静岡日産自動車、三河日産自動車、日産サティオ埼玉の5社であり、グループ全体の売上高の約77%を占める。

【基盤収益カバー率】



※ サティオ埼玉12/3期1-2Qは、当社子会社化前の参考値となります。

※ 基盤収益カバー率については、連結調整など考慮前の各社個別の決算数値に基づきつつ、一部5社比較の為に修正を行っております。

※ 5社平均は、各社の売上高に応じて、加重平均しております。

中期経営目標

●売上高経常利益率 8%以上

- ✓ 2013年3月期1-2Qの売上高経常利益率**6.9%**
- ✓ 当社グループ内で最も高い収益性を誇る長野日産自動車(経常利益率**11.1%**、2012年3月期実績)をベンチマークに、グループ全社の収益性向上を図る
- ✓ M&Aにより子会社化した新会社の収益力を早期に向上させること、中古車輸出事業とのシナジー創出、レンタカー事業の全国展開等がポイント

●自己資本比率 30%以上

- ✓ 2013年3月期2Q末の自己資本比率**22.6%**
- ✓ 自己資本蓄積のための収益性向上策は、上記のとおり
- ✓ 投資効率を重視したM&Aにより、事業拡大と有利子負債の圧縮を営業キャッシュフローの範囲内で、両立させる

高い収益効率の実現により、事業規模の拡大と財務の安定性を両立させ、安定成長を目指す

通期計画と 株主還元

株主還元
通期計画

2013年3月期 通期業績予想

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

34

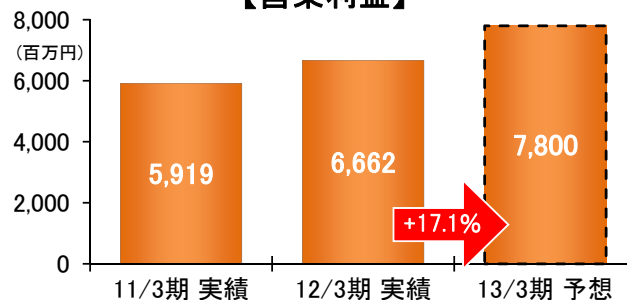
売上高、営業利益、経常利益は、過去最高を更新見込

既存会社も堅調に推移し、更に2012年4月に子会社化した自動車ディーラー2社が増収増益に寄与。

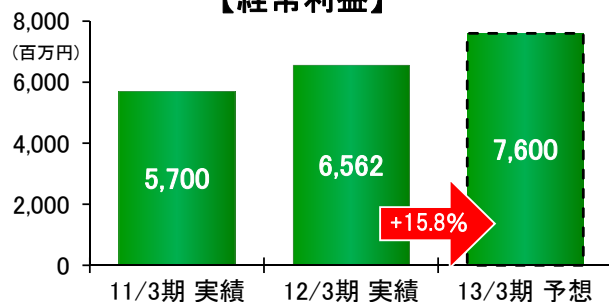
【売上高】



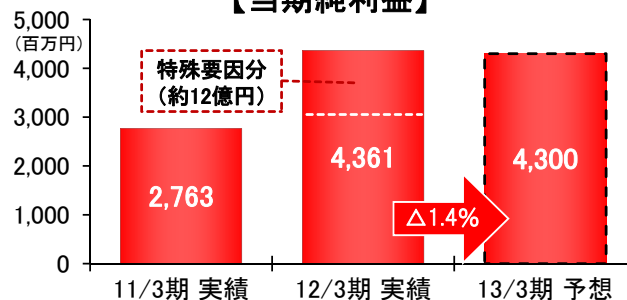
【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】



自動車セグメント 部門別損益計画

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

35

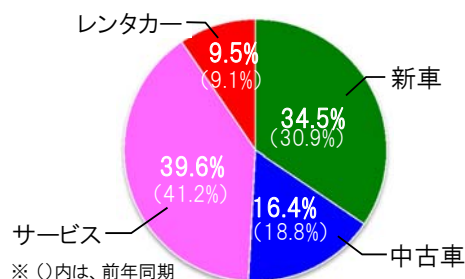
M&A効果もあり、新車・中古車・サービス部門の大幅伸長を見込む

✓新会社の収益性の改善を急ぎ、自動車セグメントの粗利率は、前期並みを見込む

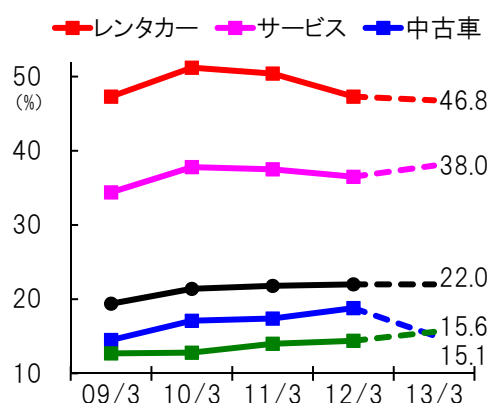
(単位:百万円)		09/3	10/3	11/3	12/3	13/3 計画	前期比
売上高	新車	42,005	41,686	42,937	47,252	56,151	118.8%
	中古車	22,833	17,656	21,095	20,284	27,535	135.7%
	サービス	21,691	21,545	21,375	21,547	26,559	123.2%
	レンタカー	2,323	2,792	3,505	4,426	5,162	116.6%
	合計	88,853	83,681	88,914	93,510	115,409	123.4%
粗利益	新車	5,362	5,356	6,010	6,823	8,766	128.4%
	中古車	3,323	3,027	3,663	3,804	4,161	109.3%
	サービス	7,468	8,146	8,023	7,877	10,080	127.9%
	レンタカー	1,101	1,429	1,766	2,096	2,416	115.2%
	合計	17,256	17,959	19,469	20,601	25,425	123.4%
粗利率	新車	12.8%	12.8%	14.0%	14.4%	15.6%	+1.2%
	中古車	14.6%	17.1%	17.3%	18.8%	15.1%	-3.7%
	サービス	34.4%	37.8%	37.5%	36.5%	38.0%	+1.5%
	レンタカー	47.4%	51.2%	50.4%	47.3%	46.8%	-0.5%
	合計	19.4%	21.4%	21.9%	22.0%	22.0%	0.0%

【部門別 粗利益構成】

13/3期計画



【部門別 粗利率】



配当政策について

VT HOLDINGS

2013年3月期 中間決算説明

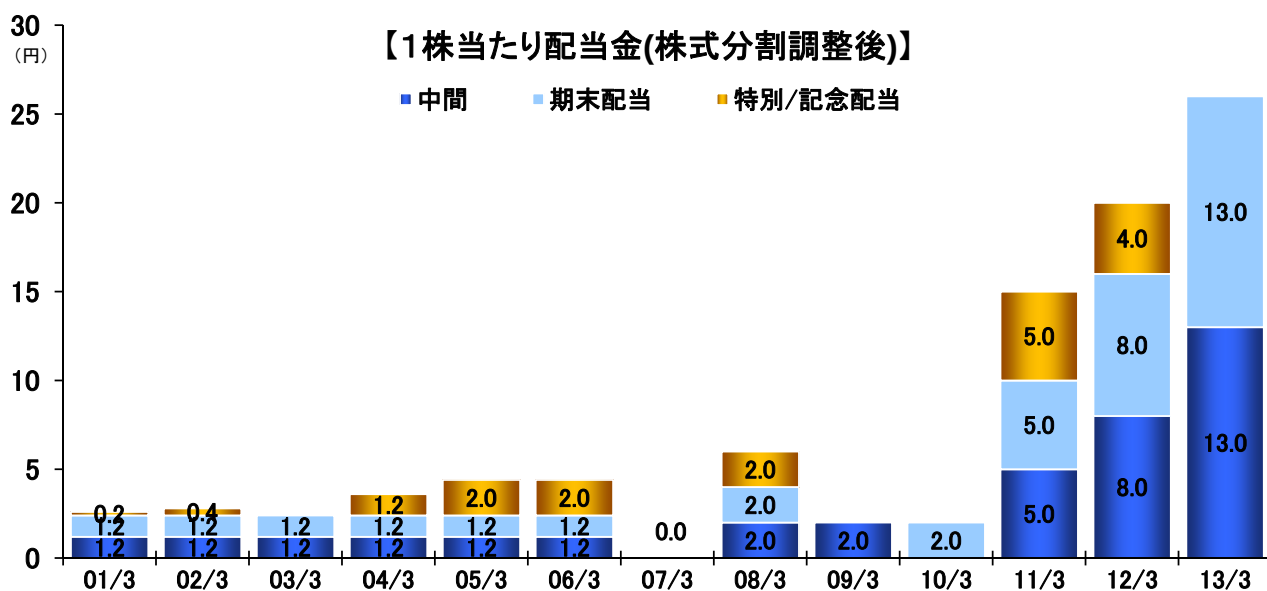
36

2013年3月期は、中間配当13円 + 期末配当予想13円

2012年3月期は、年間配当20円(前年比+5円)、連結配当性向15.8%

2013年3月期は、年間配当26円(前年比+6円)、連結配当性向21.0%の見込

今後も連結配当性向20%を目標に、業績に応じた配当を継続的に実施する方針



1998年10月の上場以後、M&Aを事業戦略の柱とした事業拡大を図ってまいりました。本新株予約権の目的は、拡大戦略の継続と財務内容の強化を両立することにあります。

《第三者割当による第4回新株予約権の発行概要》

決議日： 平成24年11月12日
割当日： 平成24年11月27日
発行新株予約権： 3,000個
発行価額： 本新株予約権1個につき2.4円
当該発行による潜在株株式数：3,000,000株（新株予約権1個につき1,000株）
資金調達額： 36億円
行使価額： 1,200円（固定）
募集又は割当方法： UBS AG London Branchに対する第三者割当方式

（株価の上昇が先行した場合）

資本増強が先行し、借入れ余力の拡大につながり、機動的にM&Aを行う環境を整備

（M&Aが先行した場合）

M&Aに伴って増加した負債は、株価の上昇次第で、資本増強により圧縮が可能となる

＝既存株主の希薄化を考慮し、行使価格を1200円に設定＝

ディーラーを超えるディーラーへ

この資料は投資家の参考に資するため、VTホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2012年11月19日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先

VTホールディングス株式会社

管理部総務グループ

TEL：052-203-9500

HP：<http://www.vt-holdings.co.jp/>